

平成23年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析	
国語	漢字を正しく読み書きすること、語彙の豊かさ、文章の読み取りといった「言語力」、目的に応じて文章の内容を的確に読み取る力に課題がみられる。
社会	地図帳を活用する力や資料から読み取る力を伸ばしていく必要がある。 社会的事象についての関心や、知識理解の面で個人差が大きい。
算数	基本的な知識や計算は身に付いている。 文章題を解いたり、既習事項を他の場面で活用したりする力が不十分である。
理科	観察や実験を通して十分に理解できている内容は正答率が高い。 既習のことがらや生活の中から、根拠を見付け予測を立てる力が不足している。

本校の教育目標
人間尊重の精神を基調とし、生涯を通じて主体的に学ぶことのできる知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな日本人の育成を目指す。
○たしかに ○ゆたかに ○げんきに ○いっしょに

本校が児童に育成したい力
・主体的な学習活動を通して獲得した、基礎的基本的な学力
・主体的に課題を見出し、解決していくための判断力や思考力
・生涯にわたって、学び続けようとする意欲や態度
・互いのよさを認め合い、学び合うための基盤となる自己表現力やコミュニケーション能力

学力向上にかかわる経営方針
・基礎・基本の徹底
・授業時間の確保
・校内研究の推進

校内における学力向上推進体制
学力向上推進委員会を設け、各学年での取り組みを随時情報交換しながら、具体的な活動を企画立案・推進している。なお、部会は、各学年と特別支援学級から1名ずつの8名で構成している。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・基礎基本の学習を重視し、大事なことを繰り返し学習するなど、学習内容の確実な定着を図る。 ・少人数学習やTTを活用し、個に応じた指導の充実に努める。 ・体験的な学習活動を積極的に取り入れ、学ぶ楽しさを味わわせる。	・週時程を工夫して朝学習・放課後学習の時間を設け、計画的に取り組む。基本的な事項の定着を図り、一斉指導だけではなく個別への対応にも活用する。	・年間7回の研究授業で、相互に授業を検証し合い、講師による指導を受けながら授業力・指導力の向上に努める。 ・理科、体育、外国語活動を中心に外部講師を招いての研修を行い、授業実践力を高める。	・よさを認める評価を心がけ、学ぶ意欲を高める。 ・各教科・領域の評価規準を基に、それぞれの学習活動に応じた評価場面や評価方法を選択し、児童の成長・発達に応じた的確な評価が行えるようにする。 ・評価を指導の改善に生かすため評価の一体化をさらに進める。	・公共施設の利用や買い物など、日常生活とかかわりをもった体験学習を重視し、地域社会の一員であることの自覚を促すとともに、社会性や生活能力を高める。 ・保護者や地域に向けて、教育計画説明会(5月)、授業改善推進プラン説明会(10月)を実施している。